

第14回 日本質量分析学会 北海道談話会・講演会

日時 2015 7/24 金
13:30~18:00 受付 13:00~

会場 北海道大学 薬学部
1階臨床薬学講義室
札幌市北区北 12 条西 6 丁目

参加無料
当日参加も歓迎です
普段着でご参加ください
非学会員も歓迎!

糖ペプチドのイオンモビリティー質量分析法

田尻 道子 | 大阪府立母子保健総合医療センター研究所

糖鎖は物理化学的性質およびタンパク質の生物活性を変化させる。糖鎖とその付加部位近傍のアミノ酸配列との関係を見るため、糖ペプチドを材料として解析を行ってきた。気相における糖ペプチドの立体構造および衝突断面積について、イオンモビリティー質量分析と理論計算を行い、糖鎖がペプチド骨格に与える構造的影響を解析した。

質量分析法を用いた放射性薬剤の開発基盤形成・作用機序解明への取り組み

志水 陽一 | 北海道大学薬学研究院

核医学診断法（PET・SPECT）は、生体分子に特異的に結合する、あるいは疾患内の生理機能に沿って代謝・集積する放射性薬剤を用いてこれらの機能を画像化する手法であり、疾患の早期診断・治療効果判定への応用が進んでいる。本講演では、放射性薬剤の研究開発に質量分析法を応用した我々の研究例、すなわち、①放射性薬剤の標的に適した疾患関連分子の探索研究、②放射性薬剤の集積機序の解明研究について紹介する。

イメージング質量分析の臨床薬理学での活用

新間 秀一 | 大阪大学工学研究科

イメージング質量分析（IMS）は、近年、創薬研究における生体内薬物動態の評価や毒性評価のための薬物代謝物イメージングに導入されつつある過渡期であり、非常に期待を集めている。しかしながら、医薬品の IMS を行うには試料前処理法など様々な工夫が必要となる。本講演では、演者がこれまで開発し、臨床検体に応用してきた試料前処理法や測定ノウハウ、そして実際に臨床現場における IMS の導入について普段聞くことができない話題を提供する。

総合討論 時間：19:00～
会場：サッポロビール園
会費：4,500円 ※当日ご欠席の場合もご負担していただきます

事前の申し込みが必要です（7月7日まで）

お申し込み

①氏名②所属③日本質量分析学会員の有無④総合討論会参加の有無を添えて、下記の問い合わせ先へメールでお申し込みください。

※資料をご用意しますので事前申込にご協力ください



お問い合わせ 北海道談話会代表世話人 岡 征子（北海道大学創成研究機構 共用機器管理センター） E-mail : hokkaido15@mssj.jp

主催 日本質量分析学会 北海道談話会 <http://cent-scorpio.asahikawa-med.ac.jp/akutsu/mass/HMSM/>

